

国際標準化と第三者認証の現状と今後の 課題について

平成30年3月9日

経済産業省

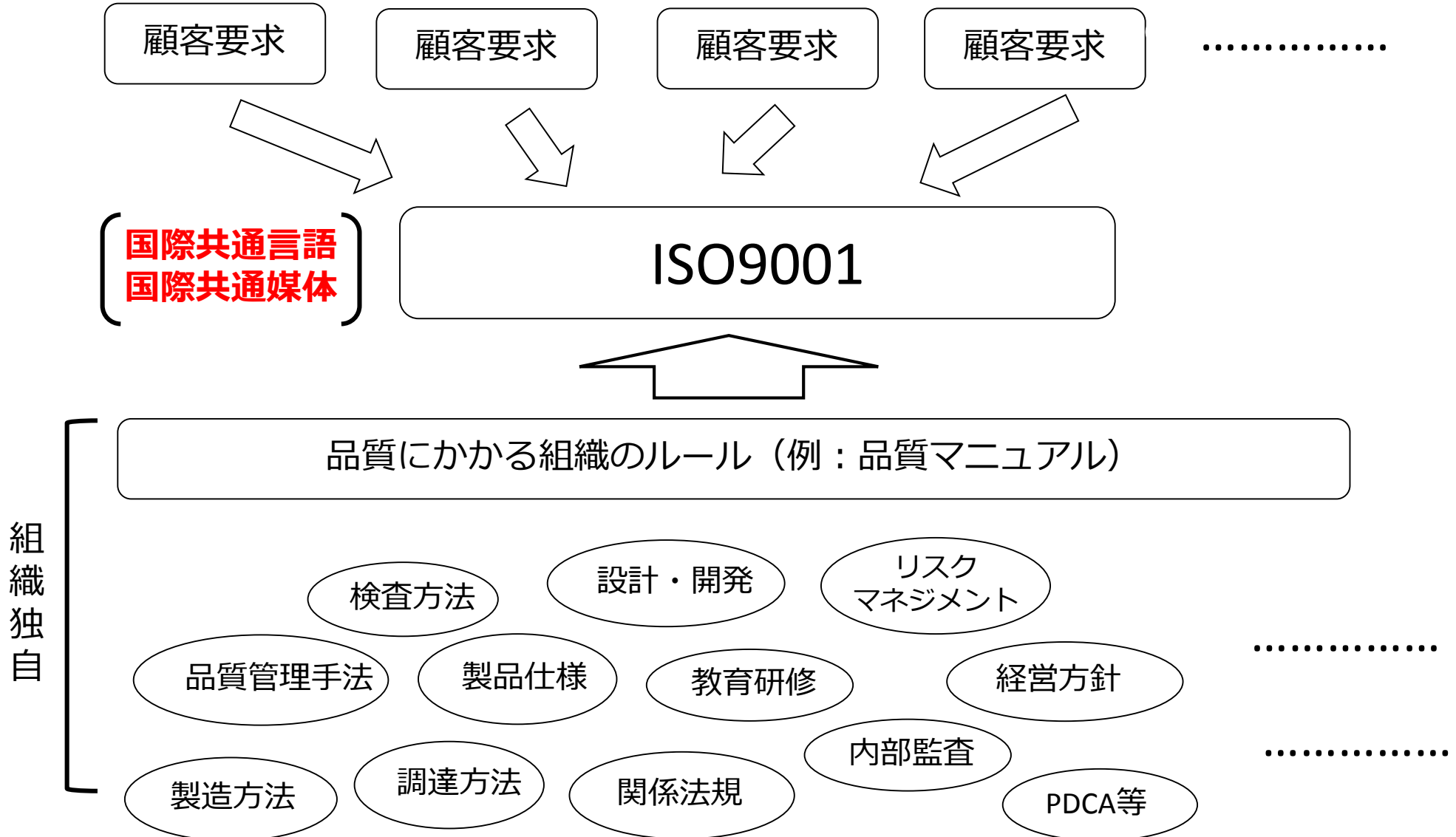
産業技術環境局国際標準課

藤代 尚武

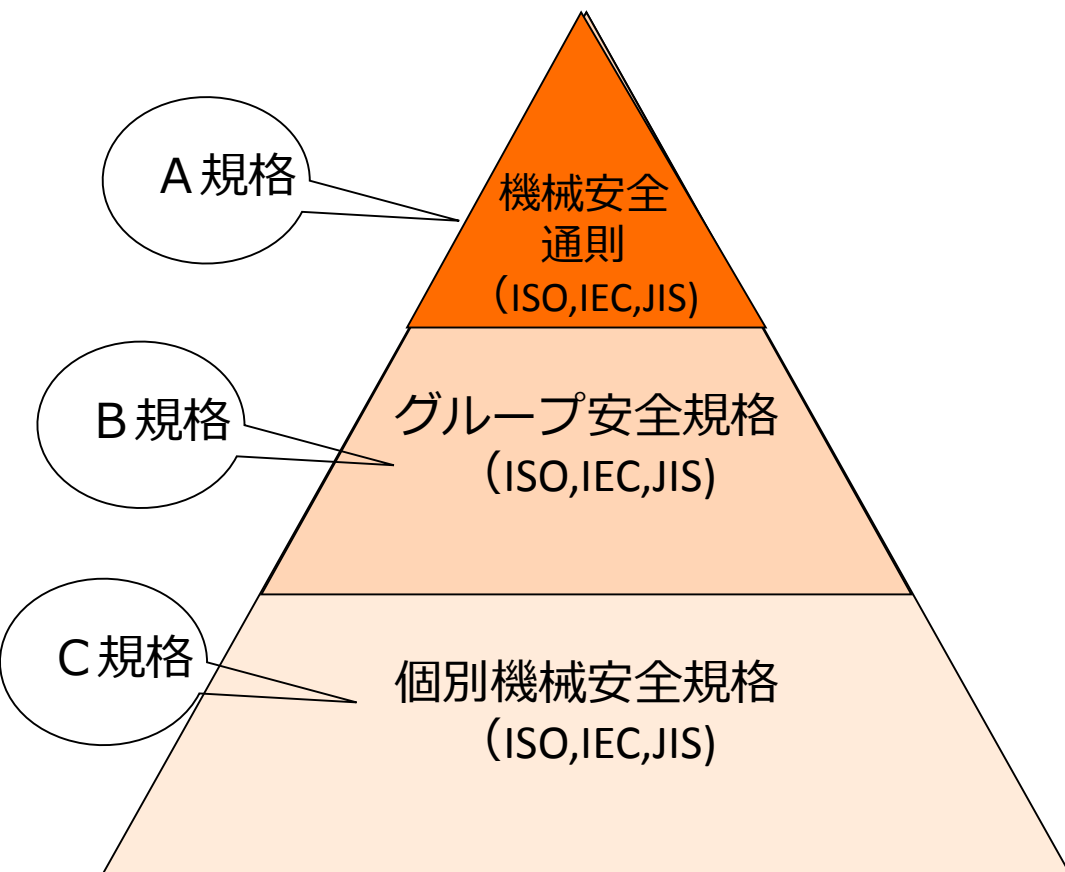
1 主なMSSの開発状況

TC/SC名称	規格		
	番号	名称	ステータス
TC176/SC2 (品質システム)	ISO 9001	品質マネジメントシステム-要求事項	2015年にIS発行 (第5版)
TC207 (環境管理)	ISO 14001	環境マネジメントシステム-要求事項及び利用の手引	2015年にIS発行 (第3版)
TC210 (医療用具の品質管理と関連する一般事項)	ISO 13485	医療機器-品質マネジメントシステム-規制目的のための要求事項	2016年にIS発行 (第2版)
TC251 (アセットマネジメント)	ISO 55001	アセットマネジメント-マネジメントシステム-要求事項	2014年にIS発行 (第1版)
ISO/IEC JTC1/SC27 (セキュリティ技術)	ISO/IEC 27001	情報技術-セキュリティ技術-情報セキュリティマネジメントシステム-要求事項	2013年にIS発行 (第2版)
TC34/SC17 (食品安全マネジメントシステム)	ISO 22000	食品安全マネジメントシステム-フードチェーンのあらゆる組織に対する要求事項	2005年にIS発行 (第1版)。現在、改定中であり、FDIS段階。
TC225 (市場調査)	ISO 20252	市場・世論・社会調査-用語及びサービス要求事項	2012年にIS発行 (第2版)。現在、改定中であり、CD段階。
TC241 (道路交通安全マネジメントシステム)	ISO 39001	道路交通安全 (RTS) マネジメントシステム-要求事項及び利用の手引	2012年にIS発行 (第1版)
TC267 (ファシリティマネジメント)	ISO 41001	ファシリティマネジメント-マネジメントシステム-要求事項と利用のための手引き	現在、第1版を開発中であり、FDIS段階。
PC283 (労働安全衛生マネジメントシステム)	ISO 45001	労働安全衛生マネジメントシステム-要求事項及び利用の手引き	現在、開発中。3月にIS発行見込み (第1版)
TC292 (セキュリティ及びレジリエンス)	ISO 22301	社会セキュリティ-事業継続マネジメントシステム-要求事項	2012年にIS発行 (第1版)。現在、改定中であり、CD段階。
TC301 (エネルギーマネジメント及び省エネルギー)	ISO 50001	エネルギーマネジメントシステム-要求事項及び利用の手引	2011年にIS発行 (第1版)。現在、改定中であり、DIS段階。

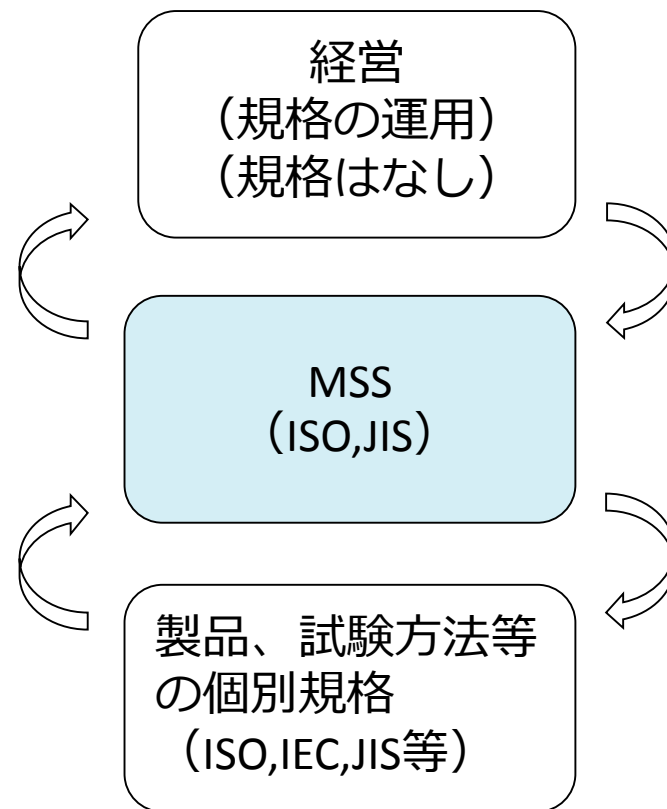
2 MSSの位置づけ①（二者間取引）



2 MSSの位置づけ②（規格体系）

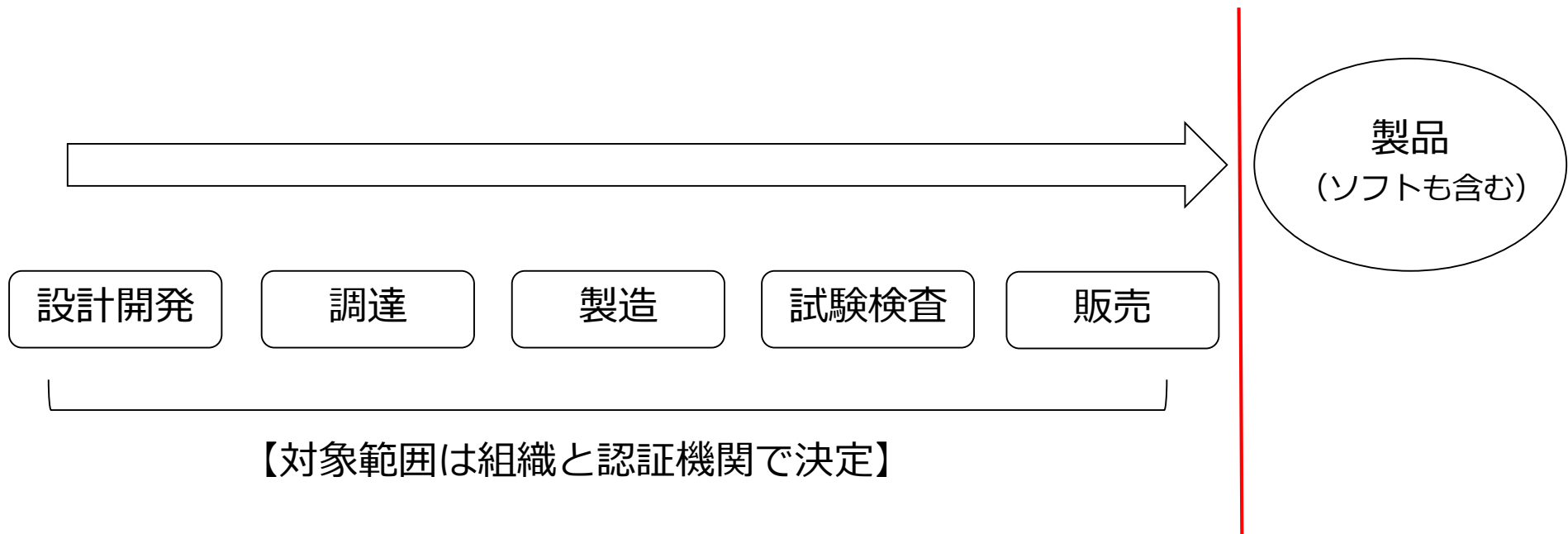


機械安全の規格体系
A規格の要求に基づいて、B規格、C規格で
個別安全要求を規定



MSSは、組織の経営、個別の製品等
と極めて密接な関係にあるものの、
規格としてはスタンドアロン

2 MSSの位置づけ③（認証の対象：品質管理）



アウトプットである製品そのものの規格等への適合性の判断は行わない

2 MSSの位置づけ④（標準化の対象の変遷）

【標準化の目的：多様化】

- イ 製品の互換性・インターフェースの整合性を確保
- ロ 生産効率を向上
- ハ 製品の適切な品質を確保
- ニ 正確な情報の伝達・相互理解の促進
- ホ 研究開発による技術の普及
- ヘ 安全・安心の確保
- ト 環境保護
- チ 企業の産業競争力の強化，競争環境を整備
- リ 貿易の促進

【標準化の内容：仕様→性能】

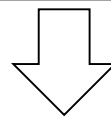
仕様規格
(specification standard)



性能規格
(performance based standard)

【標準化の対象：個別製品毎→機能毎】

製品の多様化に伴い、
規格についても個別製品ではなく、
「機能」に着目した規格作りへ



製品だけではなく、製品を生産する組織に関する標準化も重要

3 今後の課題

- 何のためにM S Sを活用するのか【M S Sはツールの一つ】
- 何のためにM S S認証を受けるのか【認証は組織の活動表現の一つ】
- M S S認証とは何を意味しているのか
【M S S認証の意味するところについて、組織、認証機関及び認定機関だけでなく、サプライチェーン全体の関係者間（消費者も含む）における理解の共有化】
- M S Sにかかる適合性評価制度の中核機能（国際相互承認も含む）としての認定機関の役割は重要。